

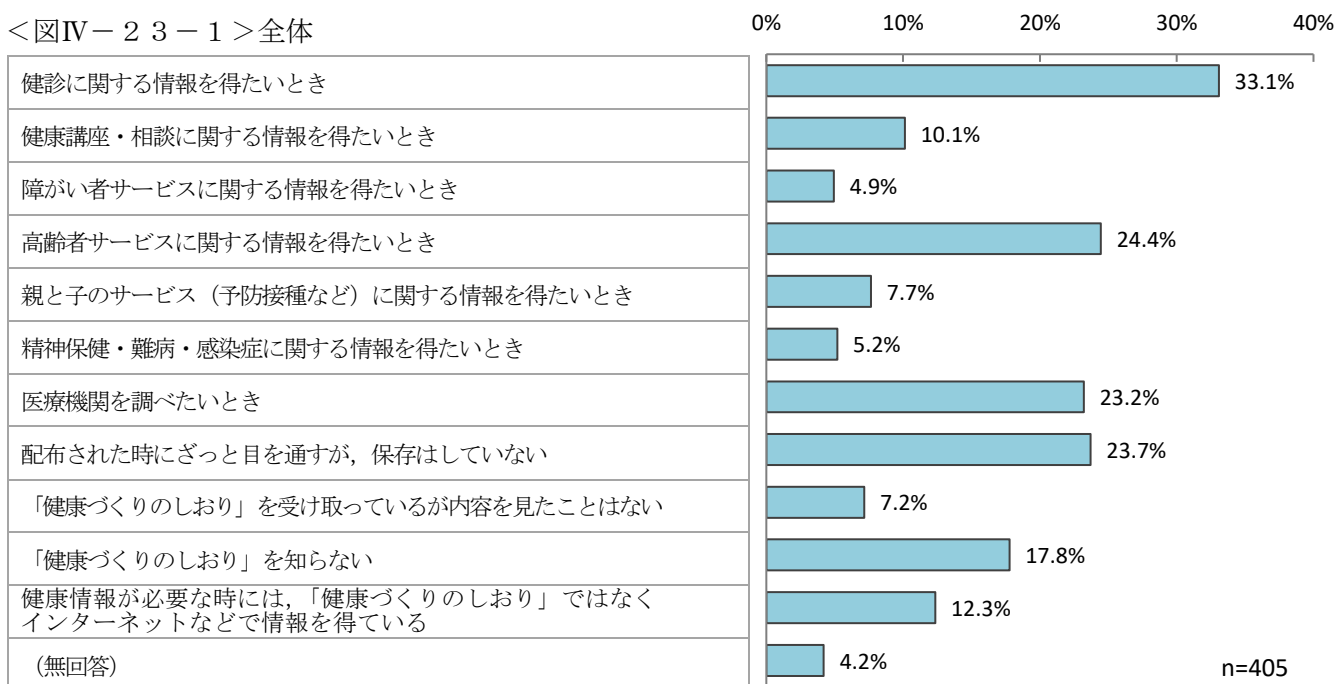
23. 健康づくりについて

(1) 「(保存版(冊子))健康づくりのしおり」をどのように利用しているか

◇「健診に関する情報を得たいとき」が3割強

問76	毎年、広報うつつのみや4月号に合わせて、健診をはじめ様々な健康情報を提供する「(保存版(冊子))健康づくりのしおり」を配布していますが、どのように利用していますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)	n=405
1	健診に関する情報を得たいとき	33.1%
2	健康講座・相談に関する情報を得たいとき	10.1%
3	障がい者サービスに関する情報を得たいとき	4.9%
4	高齢者サービスに関する情報を得たいとき	24.4%
5	親と子のサービス(予防接種など)に関する情報を得たいとき	7.7%
6	精神保健・難病・感染症に関する情報を得たいとき	5.2%
7	医療機関を調べたいとき	23.2%
8	配布された時にざっと目を通すが、保存はしていない	23.7%
9	「健康づくりのしおり」を受け取っているが内容を見たことはない	7.2%
10	「健康づくりのしおり」を知らない	17.8%
11	健康情報が必要な時には、「健康づくりのしおり」ではなくインターネットなどで情報を得ている	12.3%
	(無回答)	4.2%

<図IV-23-1>全体



「(保存版(冊子))健康づくりのしおり」をどのように利用しているかについては、「健診に関する情報を得たいとき」が33.1%で最も高く、次いで「高齢者サービスに関する情報を得たいとき」が24.4%、「配布された時にざっと目を通すが、保存はしていない」が23.7%と続いている。(図IV-23-1)

<参考>

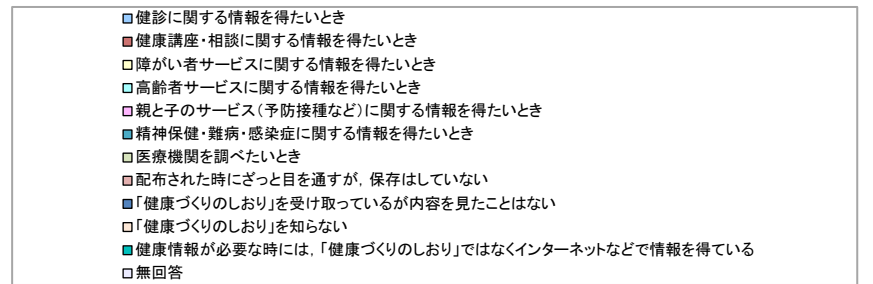
性別・年齢別でみると、「健診に関する情報を得たいとき」は<女性/50歳代>が56.7%で最も高かった。(図IV-23-2)

家族構成別でみると、「健診に関する情報を得たいとき」は<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が42.9%で最も高かった。(図IV-23-2)

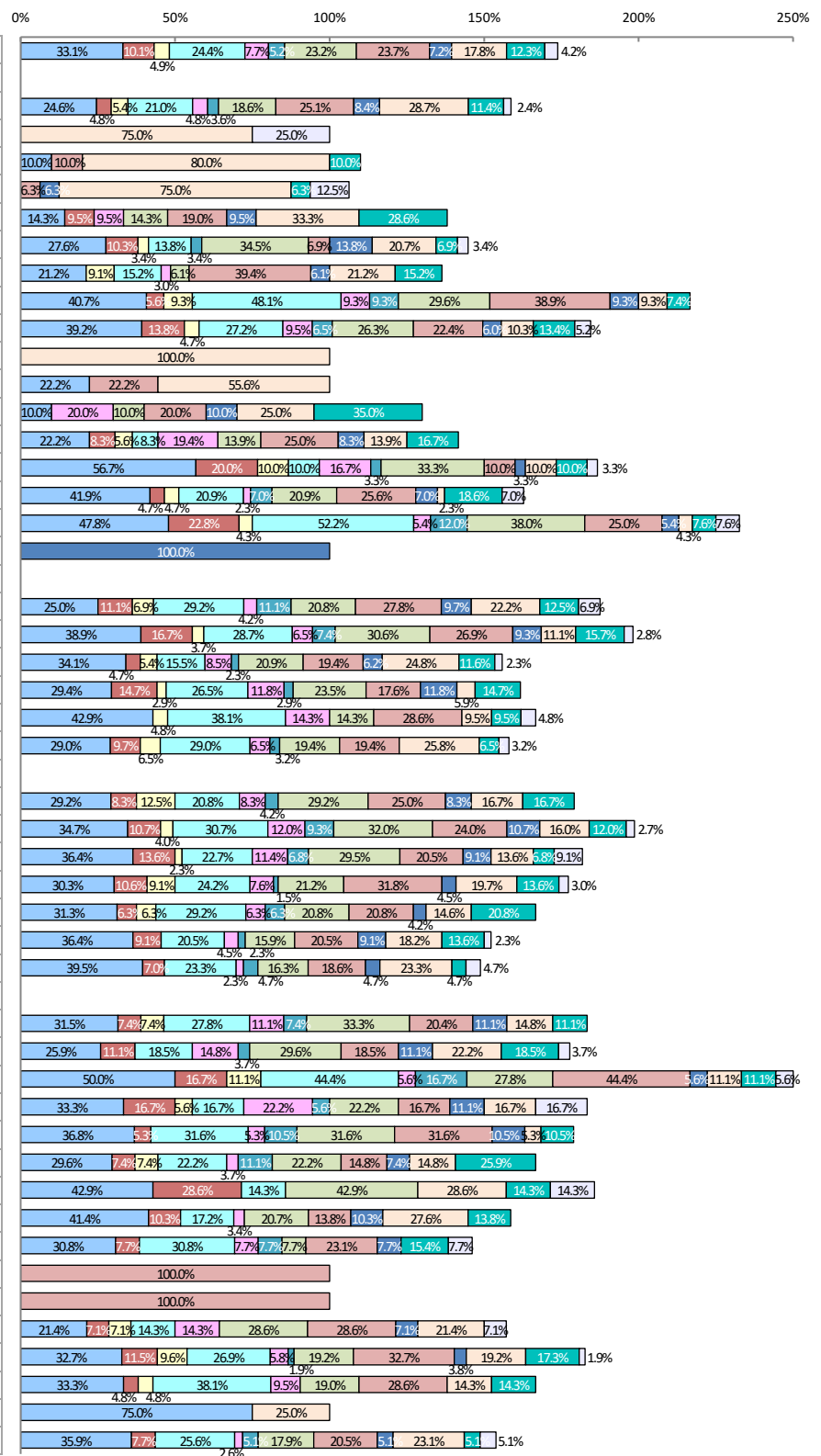
居住地域別でみると、「健診に関する情報を得たいとき」は<上河内・河内地域>が39.5%で最も高かった。(図IV-23-2)

居住地区別でみると、「健診に関する情報を得たいとき」は<上河内>が75.0%で最も高かった。(図IV-23-2)

<図IV-23-2>性別・年齢別／家族構成別／居住地域・地区別



全体	(405)
【性別・年齢別】	
男性(計)	(167)
10歳代	(4)
20歳代	(10)
30歳代	(16)
40歳代	(21)
50歳代	(29)
60歳代	(33)
70歳以上	(54)
女性(計)	(232)
10歳代	(1)
20歳代	(9)
30歳代	(20)
40歳代	(36)
50歳代	(30)
60歳代	(43)
70歳以上	(92)
その他	(1)
【家族構成別】	
ひとり暮らし(単身世帯)	(72)
夫婦のみ(一世代世帯)	(108)
親と未婚の子ども(核家族)	(129)
親と子ども夫婦(二世帯世帯)	(34)
親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)	(21)
その他	(31)
【居住地域別】	
本庁(都心)	(24)
本庁(周辺)	(75)
東部地域	(44)
西部地域	(66)
南部地域	(48)
北部地域	(44)
上河内・河内地域	(43)
【居住地区別】	
本庁	(54)
宝木	(27)
陽南	(18)
平石	(18)
清原	(19)
横川	(27)
瑞穂野	(7)
豊郷	(29)
国本	(13)
富屋	(1)
篠井	(1)
城山	(14)
姿川	(52)
雀宮	(21)
上河内	(4)
河内	(39)

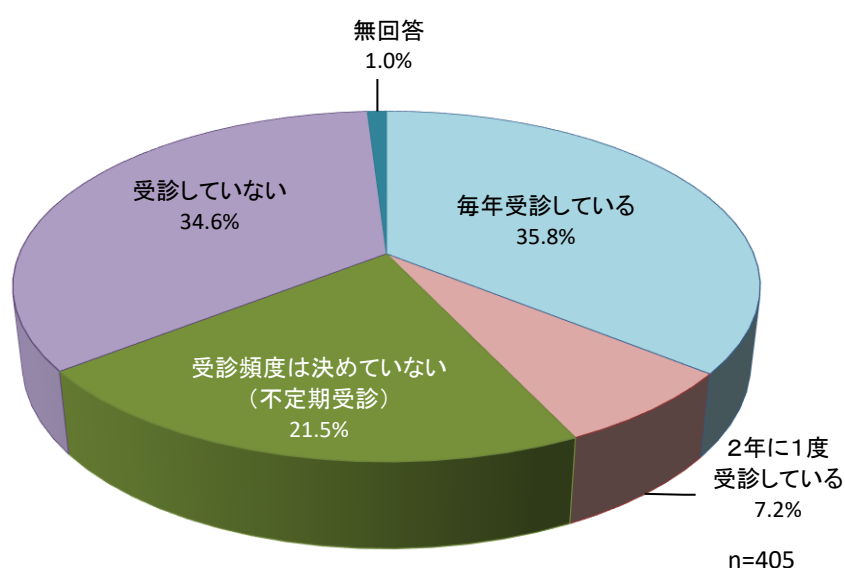


(2) がん検診を受診する間隔

◇ 「毎年受診している」が3割半ば

問77	がん検診を受診する間隔について、該当するものに○をつけてください。(○は1つ)	n=405
1	毎年受診している	35.8%
2	2年に1度受診している	7.2%
3	受診頻度は決めていない(不定期受診)	21.5%
4	受診していない	34.6%
	(無回答)	1.0%

<図IV-23-3>全体



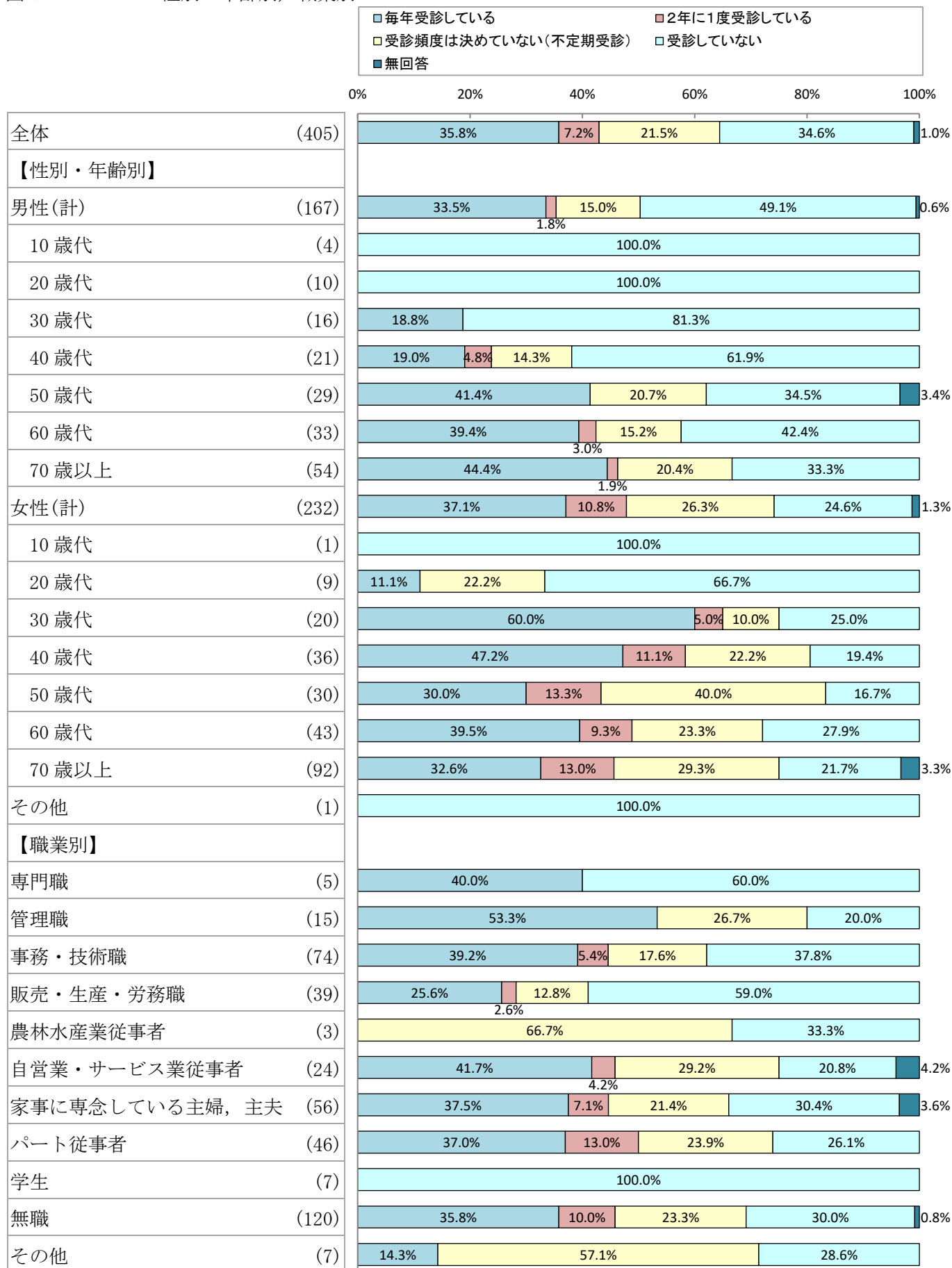
がん検診を受診する間隔については、「毎年受診している」が35.8%で最も高く、次いで「受診していない」が34.6%、「受診頻度は決めていない(不定期受診)」が21.5%と続いている。(図IV-23-3)

<参考>

性別・年齢別でみると、「毎年受診している」は<女性/30歳代>が60.0%、<女性/40歳代>が47.2%であった。「受診していない」は<男性/10歳代><男性/20歳代><女性/10歳代>が100.0%、<男性/30歳代>が81.3%であった。(図IV-23-4)

職業別でみると、「毎年受診している」は<管理職>が53.3%、<自営業・サービス業従事者>が41.7%であった。「受診していない」は<学生>が100.0%、<専門職>が60.0%であった。(図IV-23-4)

<図IV-23-4>性別・年齢別／職業別

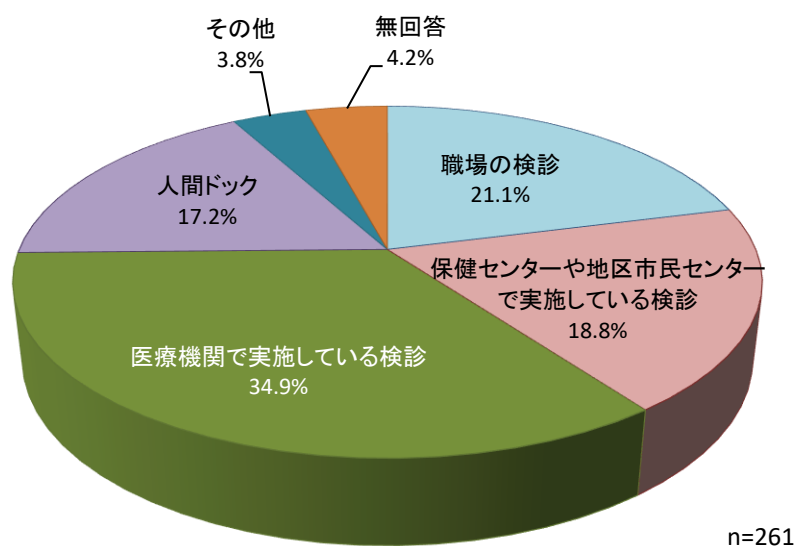


(3) 直近のがん検診の受診先

◇ 「市の受診券を利用して受ける個別検診（医療機関で実施している検診）」が3割半ば

問78	問77で1～3と回答した方に伺います。 直近のがん検診の受診先について該当するものに○をつけてください。（○は1つ）	n=261
1	職場の検診	21.1%
2	市の受診券を利用して受ける集団検診（保健センターや地区市民センターで実施している検診）	18.8%
3	市の受診券を利用して受ける個別検診（医療機関で実施している検診）	34.9%
4	人間ドック	17.2%
5	その他 (無回答)	3.8% 4.2%

<図IV-23-5>全体



直近のがん検診の受診先については、「市の受診券を利用して受ける個別検診（医療機関で実施している検診）」が34.9%で最も高く、次いで「職場の検診」が21.1%、「市の受診券を利用して受ける集団検診（保健センターや地区市民センターで実施している検診）」が18.8%と続いている。（図IV-23-5）

<参考>

性別・年齢別でみると、「市の受診券を利用して受ける個別検診（医療機関で実施している検診）」は<女性/70歳以上>が59.4%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が41.7%であった。「職場の検診」は<男性/30歳代>が66.7%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が62.5%であった。（図IV-23-6）

職業別でみると、「市の受診券を利用して受ける個別検診（医療機関で実施している検診）」は<家事に専念している主婦、主夫>が56.8%で最も高く、次いで<無職>が50.6%であった。「職場の検診」は<管理職><販売・生産・労務職>が50.0%で最も高く、次いで<事務・技術職>が45.7%であった。（図IV-23-6）

<図IV-23-6>性別・年齢別／職業別

